

府養研ニュース

平成20年6月23日発行
大阪府支援教育研究会
会長 井崎 敏彦
(豊中市立第八中学校)

7月号は
7月中旬
発行予定。

ホームページもご覧ください。<http://fuyouken.visithp.jp/>

ニュースや本会活動への問い合わせ・ご意見は、Mailにて件名に「大支援研問合せ」など「大支援研」を入れてください。

jimukyoku07@fuyouken.visithp.jp

アドレスをテキストで載せるとスパムメールが多数届いてしまうので、画像で張り付けてあります。

お手数ですが、手入力をお願いします。

大阪府支援研役員総会予定 本部・支部役員の方はご予約ください。

第1回平成20年 6月12日(木) 終了

第2回平成20年 9月11日(木)午後3時～5時 **アウィーナ大阪 信貴の間**

第3回平成21年 1月15日(木)午後3時～5時 **アウィーナ大阪 信貴の間**

2007年度研究紀要CD-ROMの配布はもう少しお待ちください。

2007年度に各支部から選ばれた方の論文がPDFファイルで入っております。[レーベル画像は、東大阪市立加納小学校の作品です。]



大阪府支援教育研究会 ICT 活用プロジェクト夏期講座

一次案内添付 詳細は近日中に号外で配布します。(またはHPIにて)

テーマ: 9月から役立つ ICT 活用

日時: 8月14日(木)・15日(金)9:30～17:00

会場: 大東市立深野(ふこの)中学校

<http://ed.city.daito.osaka.jp/fuko-jhs/>

内容: 機器製造・改造講座 Flash 講座 ビデオ編集講座 ソフトや機器の活用

シンボルの活用 ICT 活用の実際 VOCA セミナー など

講師: 金森克浩先生(国立特別支援教育総合研究所)大前洋介先生(神戸市立青陽東養護学校)

大井雅博先生(三重県立特別支援学校西日野にじ学園)天後毅彦先生(伊丹市立伊丹養護学校)

宮本裕美子さん(のびのびキッズ)

圓井美貴子さん(保護者)

小西 順先生(大阪府立堺支援学校)

糸川美和子先生(大阪府立堺支援学校)

槇場政晴先生(大阪府立茨木支援学校)

田中敏弥先生(大阪市立住之江養護学校)

奥村政則先生(大阪府立羽曳野支援学校)

黒島康司さん(パンフィックサプライ)

マジカルトイボックスの皆さん 他

施設見学研修会案内 案内添付

2008年8月22日(金)13:00 集合～16:30 終了

交野松下株式会社 <http://panasonic.co.jp/pavc/kmc/company/>

1) 自立センターの見学 2) やわらぎ授産所の見学 3) 交野松下の説明・見学 4) 質疑・応答

案内をご覧の上、お申し込み下さい。7月11日(金)締め切り(厳守)

実技研修会のご案内 **案内添付** 各教材ごとに 定員30名、先着順受付です。

平成20年 8月11日(月) 10時～16時 7月18日(金)締切り

たかつガーデン たかつ(8階)

大阪市天王寺区東高津町7-11 TEL (06)6768-3911

講師 象の会 (内藤 壽・松永 榮一・朝井 翔二 各先生)

- A. 数字の歌 B. かなコロリン C. お絵かきヘルパー、声・速さメーター
D. カンタンさかなつり E. 扇なかぶ F. ぱたぱた

添付案内ご覧の上、FAXでお申し込みください。

他団体紹介 (以下は大支援研以外の団体が主催の講演会・研修です。)

日本ムーブメント教育・療法協会主催の夏期セミナー **案内添付**

☆全国テーマ 一人ひとりの発達をともに歩もう

☆大阪大会テーマ 一人ひとりの発達と健康を支えるムーブメント教育・療法実践講座

日時 平成20年8月16日(土)17日(日)

場所 大阪国際会議場 1003会議室

特別支援教育セミナーin 関西2008 **案内添付**

・医療の専門家を招き、心の支援という病気で療養している子どもたちの教育の基本と応用を学ぶ

・特別な配慮を必要とする子どもたちへの支援のあり方やこれからの特別支援教育について

主催 病弱教育セミナーin「関西」運営委員会

後援予定 大阪府教育委員会 大阪市教育委員会 堺市教育委員会

参加対象者 特別支援教育に関わる教師、養護教諭や医療・福祉の関係者・保護者
特別支援教育に関心のある方

定員 50名(先着順)

日程 平成20年8月4日(月)9:30 開講式 10:00 開講～18:30
5日(火)9:00～15:50 閉講式 16:00 終了

会場 道頓堀ホテル(大阪府中央区道頓堀2-3-25)TEL 06-6213-9040

会費や申し込み方法については、添付の案内をご覧ください。

NPO 法人ピュア 平成20年度講演会(連続講座)の紹介

ピュア会員以外も参加できます。

詳しくは <http://www.pure-higashiosaka.com/> 申し込み用紙はここにあります。

第1回目 7月13日(日) 澤先生による、発達障害の人の自立と自立課題について

午後1時30分～4時 勤労市民センター「ユトリート東大阪」参加費一般2000円

今後の予定

第2回目 9月7日(日) 門先生 高機能自閉症・アスペルガー症候群の人のコミュニケーション支援

第3回目 時期未定 灘先生 発達障害の人の感覚のちがひ

冊子の発行(東大阪市内の各校園に配布いたしました。)

～ママ、てつだって 発達障害児の「どたばた・はらはら・うるうる」子育て体験記～

平成20年（2008年）6月25日

大阪府支援教育研究会会員様
特別支援教育関係者様

大阪府支援教育研究会
会長 井崎 敏彦

大支援研ICT活用プロジェクト夏期講座一次案内

大阪府支援教育研究会ICT活用プロジェクト夏期講座を下記の要領で実施いたします。
多数のご参加をお待ちしております。

記

1. テーマ 9月から役立つICT活用
2. 日時 8月14日(木)・15日(金) 9:30～17:00
3. 会場 大東市立深野（ふこの）中学校 <http://ed.city.daito.osaka.jp/fuko-jhs/>
大阪府大東市深野北一丁目15番1号 Tel 072 - 879 - 4891
JR東西線野崎駅下車 北西約500m
4. 参加費 無料（ただし、材料費等が必要な講座があります）
5. 定員 各講座先着順で定員まで受け付け：申し込み状況をHPでお知らせします
6. 申し込み 下記申し込み先まで、以下の内容を明記の上、
e-mailまたはfaxにてお申し込みください。
 - 1) 氏名・所属
 - 2) 連絡先（e-mail、または fax）
 - 3) 参加希望講座記号
 - 4) 懇親会参加の有無（14日講座終了後）件名を「大支援研ICT活用夏期講座申し込み」でお願いします
参加をお断りする場合を除いて、受付受諾等の連絡はいたしません。
7. 申し込み先
問い合わせ 平峰厚正（熊取町立熊取西小学校）
e-mail ict08_fuyouken.visithp.jp（を@にお変え下さい）
fax 072 452 2962
問い合わせはできる限り、e-mailにてお願いします。
なお件名を「大支援研ICT活用夏期講座問合せ」でお願いします。
8. 講座
講座は、両日とも午前の部（AM）9:30～12:30、午後の部（PM）14:00～17:00で
設定しておりますが、講座によっては、複数の時間帯にまたがるものもございます。またパ
ソコン持参していただかなければならない講座があります。各講座の時間帯や必要なものを
ご確認のうえ、参加講座をお選びください。

講座一覧

別紙やHPに講座内容概略また必要な物などが書かれています。必ずご覧下さい。

詳細がまだ未確定の講座もあります。決まり次第HP UPします。HPもご確認下さい。

講座		14日(木)		15日(金)	
記号	講座名	AM	PM	AM	PM
A	あなたも作れるFlash講座 講師：糸川美和子先生 (部分参加不可) (要:パソコン持参) 定員10名				
B	あなたもできるビデオ編集&DVD作成 講師：奥村政則先生 (部分参加不可) (要:パソコン持参) 定員10名				
C	製作講座 「数字の電子さいころ作り」 講師：田中敏弥先生 (材料費：1000円) 定員10名				
D	製作講座 簡単なスイッチ 講師：金森克浩先生・禿 嘉人先生・外山世志之先生 谷本式慶先生 (材料費：実費) 定員20名				
E	製作講座 スイッチ&BDのリモコン他 講師：大井雅博先生 他 (材料費：1000円) 定員20名				
F	製作講座 VOCA 講師：金森克浩先生・禿 嘉人先生・外山世志之先生 谷本式慶先生 (材料費：実費) 定員20名				
G	肢体不自由児支援学校の個別課題と自主教材ソフトについて ～小西ソフト活用による個別課題アプローチ表の見方～ 講師：小西 順先生 定員30名				
H	子どもの特性(重複障害、知的)に合わせたソフトと入力機器 (市販、自作)の選定方法 講師：大前洋介先生・天後毅彦先生 定員30名				
I	支援機器に関する最新情報 講師：金森克浩先生 定員30名				
J	演習:学校行事の資料を視覚支援化しよう!!(要:パソコン持参) 講師：大前洋介先生・天後毅彦先生 定員15名				
K	発達障害のある風景 ～つれづれなるままに～ 講師：宮本裕美子さん 定員30名				
L	シンボルの活用について ～メッセージのためのツールとコミュニケーションのための ツールとしてシンボルを使うために～ 講師：榎場政晴先生 定員30名				
M	エーブルネット社VOCAセミナー 講師：黒島康司さん 定員20名				
N	機器との出会いと活用で広がった日々 ～生活の中でいきづくICT活用～ 講師：圓井美貴子さん 定員30名				

9. 懇親会

14日(木)の講座終了後、懇親会を予定しております。
(参加費実費で、会場は当日お知らせいたします。)

参加いただける方は、申し込み時にお知らせください。

10. 備考

定員に満たない講座は、当日参加も可能です

HPの参加者状況をご覧確認ください。

ただし、準備の都合がありますので、できる限り、7月末までに事前申し込みをお願いします。

定員を超えた場合を除いて、参加の可否の連絡をいたしません。

講座ABは、「要：パソコン持参」です。講座内容詳細の備考欄をご確認のうえ、指定の条件のパソコンをご持参下さい。

各講座の会場は、決まり次第HPにてお知らせいたします。

上靴をご持参下さい。

靴は、靴入れをご用意しますので、会場に持ってお入りください

大支援研ICT活用プロジェクト夏期講座各講座内容概略

各講座内容の概略です。備考欄には、参加に必要な機器や持参するもの等の記載がございますので、よくお読みください。

講座 A	14日(木) 9:30~17:00 (部分参加不可)	定員	10名
講座名	あなたも作れるFlash講座		
講師	糸川 美和子 先生 (大阪府立堺支援学校教諭)		
内容&紹介			
Webページでは、Flashを使った自作教材が数多く公開されています。子どもたちに使っていて、「自分も作ってみたい」と思われませんか。「タイムラインの操作」の習得のために、簡単な作図と、それを使ったアニメーションの製作実習です。			
備考			
「かんたんWebアニメーション」をインストールしたパソコンをご持参下さい http://www.cyberfront.co.jp/title/kwa/ から、無料版がダウンロードできます			
講座 B	15日(金) 9:30~17:00 (部分参加不可)	定員	10名
講座名	あなたもできるビデオ編集&DVD作成		
講師	奥村 政則 先生 (大阪府立羽曳野支援学校教諭)		
内容&紹介			
活動の記録や作業の説明などのためにビデオを使いたいと思いませんか。そのときに、少しビデオ編集ができたなら……。DVDにして渡せたら……。この講座はそのような人のための講座です。			
備考			
テキスト：技術評論社刊「かんたんパソコン生活 ビデオ編集&DVD作り」一条真人著 各自購入してご持参下さい ユーリード MovieWriter6 をインストールした、DVD書き込み可能なパソコン持参 http://www.ulead.co.jp/product/dvdmoviewriterhd/runme.htm テキストに体験版がついています。			
講座 C	14日(木)9:30~12:30	定員	10名
講座名	製作講座 「数字の電子さいころ作り」		
講師	田中 敏弥 先生 (大阪市立住之江養護学校教諭)		
内容&紹介			
PICマイクロコンピュータは、2cmほどのワンチップの部品にコンピュータとしての機能を搭載したものです。プログラムによって自在に働かせることができます。今回は、算数の学習やゲームなどに使える教具として数字の発光ダイオードを使った電子さいころを作ります。半田付けをほとんど使わない方法で回路を組み立てます。			
備考			
材料費1000円は当日徴収。(単3乾電池3本、オプションの部品の費用は含みません。) ラジオペンチ、ニッパ、ホットボンドをお持ちの方はご持参ください。			

講座 D	14日(木) 14 : 00 ~ 17 : 00	定員	20名
講座名	製作講座 かんたんなスイッチ作成		
講師	金森 克浩 先生 (国立特別支援教育総合研究所教育研修情報部総括研究員) 禿 嘉人 先生 (東京都立城南特別支援学校教諭) 外山 世志之 先生 (東京都立光明特別支援学校教諭) 谷本 式慶 先生 (東京都立多摩桜の丘学園)		
内容&紹介			
<p>スイッチ一つで広がる世界があります。皆さんも作ってみませんか。 フィルムケーススイッチ、棒スイッチ、BDアダプター、フロッピーケーススイッチ などの予定です。詳細は決まりましたら、HPなどでお知らせします。 http://www.escor.co.jp/Products_E_1.html#kit http://www.suzuden.co.jp/shop/akiba/escor.htm</p>			
備考			
<p>材料費：実費となります。当日徴収します。 講師皆さんが所属するマジカルトイボックスのHP http://www.magicaltoybox.org/</p>			

講座 E	15日(金) 9 : 30 ~ 12 : 30	定員	20名
講座名	製作講座 スイッチ&BDのリモコン他		
講師	大井 雅博 先生 (三重県立特別支援学校西日野にじ学園教諭)		
内容&紹介			
<p>スイッチ&BDリモコンのほかに100均教材作りも企画していただいています。 詳細は、決まり次第Hなどでお知らせします</p>			
備考			
<p>材料費：実費となります。当日徴収します。</p>			

講座 F	15日(金) 14 : 00 ~ 17 : 00	定員	20名
講座名	製作講座 VOCA		
講師	金森 克浩 先生 (国立特別支援教育総合研究所教育研修情報部総括研究員) 禿 嘉人 先生 (東京都立城南特別支援学校教諭) 外山 世志之 先生 (東京都立光明特別支援学校教諭) 谷本 式慶 先生 (東京都立多摩桜の丘学園)		
内容&紹介			
<p>VOCA (Voice Output Communication Aid) の製作講座です。 詳細は、決まりましたらHPなどでお知らせします</p>			
備考			
<p>材料費：実費となります。当日徴収します。 講師皆さんが所属するマジカルトイボックスのHP http://www.magicaltoybox.org/</p>			

講座 G	14日(木) 9:30~12:30	定員	30名
講座名	肢体不自由児支援学校の個別課題と自主教材ソフトについて ～小西ソフト活用による個別課題アプローチ表の見方～		
講師	小西 順 先生（大阪府立堺支援学校教諭）		
内容&紹介			
<p>「最初に、課題やソフトありきでなく、出発点は、楽しい授業をめざそうということ。その中で、意欲が芽生え、課題が見えてくる。ついで、シンプルな自作ソフトに対する、支援者の工夫によって、課題に取り組む事が出来る。」という主旨の授業作りの原点からのお話しをしていただきます。</p> <p>また、具体的なソフトと支援技術（インテリキー等）の紹介や授業の様子のビデオ紹介等を考えていただいています。</p>			
備考			
講師の小西順先生のサイト 障害児教育とパソコン http://homepage.mac.com/mamenchi55/			

講座 H	14日(木) 14:00~17:00	定員	30名
講座名	子どもの特性（重複障害、知的）に合わせたソフトと入力機器（市販、自作）の選定方法		
講師	大前 洋介 先生（神戸市立青陽東養護学校教諭） 天後 毅彦 先生（伊丹市立伊丹養護学校教諭）		
内容&紹介			
<p>入力機器の選定に悩まれたことはありませんか。「どうしたらいいんだろう?」「これでいいんだろうか?」</p> <p>重複障害、知的障害などの子どもの特性に合わせて、市販や自作の入力機器の選定方法について、講師陣の豊富なご経験を踏まえて、具体的な提示も含めお話しさせていただきます。今後の入力機器の選定などに対するヒントが得られるものと思います。</p>			

講座 I	15日(金) 9:30~12:30	定員	30名
講座名	支援機器に関する最新情報		
講師	金森 克浩 先生（国立特別支援教育総合研究所教育研修情報部総括研究員）		
内容&紹介			
<p>発達障害のある子どもたちへの支援機器を中心に、ノンテクからハイテクまでの教育支援機器についての情報をご報告していただきます。</p> <p>講師の金森先生は、養護学校での教員の経験を経て、今年度、国立特別支援教育総合研究所の研究員になられました。国立特別支援教育総合研究所は、特別支援教育に関する研究の中心。その立場で得られる最新情報をお教えいただくことで、新たなヒントが得られるものと思います。</p>			
備考			
独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所HP http://www.nise.go.jp/			

講座 J	15日(金) 14:00~17:00	定員	15名
講座名	演習:学校行事の資料を視覚支援化しよう!!		
講師	大前 洋介 先生(神戸市立青陽東養護学校教諭) 天後 毅彦 先生(伊丹市立伊丹養護学校教諭)		
内容&紹介			
<p>ボードメーカー デジタルカメラ フリーイラスト などなどを使って、年間に出される行事のプログラムなどを子どものために視覚支援化しようという演習です。</p> <p>さまざまな行事で、視覚支援ができれば、と思いながらなかなかしきれない日々。また、どのように作ったらいいんだろう、と迷ってしまっていることはありませんか。ワードやエクセル パワーポイントなど、市販のソフトを使って、みなでアイデアを出し合いさまざまなものを作ってみましょう。すぐに役立つものから、作るアイデアが広がるものまで、いろいろなヒントが得られるものと思います。</p>			
備考			
できれば、ノートパソコンをご持参下さい。 会場でも数台は用意できる予定です。			

講座 K	14日(木) 9:30~12:30	定員	30名
講座名	発達障害のある風景 ~つれづれなるままに~		
講師	宮本 裕美子 さん(大阪ADHDを考える会 のびのびキッズ)		
内容&紹介			
<p>「何気ない日常の一コマを切り取るように」、あるいは、「なんでもないことなんだけど、気になってつい立ち止まってしまったこと」など、エピソードをもとに、いろいろなタイプの子のなかなか気づいてもらえないしんどさについて、語っていただきます。</p> <p>そして、その支援の一つの手立てとしてのICTの活用があり、それを中心に広く支援についてのヒントをいただきます。</p>			
備考			
大阪ADHDを考える会 のびのびキッズHP http://nobinobikids.web.fc2.com/			

講座 L		定員	30名
講座名	シンボルの活用について ~メッセージのためのツールとコミュニケーションのためのツールとしてシンボルを使うために~		
講師	榎場 政晴 先生(大阪府立茨木支援学校教諭)		
内容&紹介			
<p>かんたんそうで難しいのがシンボルの活用。 誰のために使うのか。何のために使うのか。何をめざして使うのか。 まちがえると本来有効であるべきツールが、逆効果になってしまうことも。 シンボルの活用について、今一度学びませんか。</p>			

講座M	15日(金) 9:30~12:30	定員	30名
講座名	エーブルネット社VOCAセミナー		
講師	黒島 康司 さん (パシフィックサプライ)		
内容&紹介			
<p>VOCAを買ってみただけはどううまく使いこなせなくて悩んでいませんか？ また、どんな機器なのか、目の前の子どもにはどれがより適切なのかカタログではわからない、と思われることはありませんか。 機器の活用事例や実際に体験もできる講座です。悩まれている方は是非参加を。</p>			
備考			
<p>パシフィックサプライ https://www.p-supply.co.jp/ エーブルネット http://www.ablenetinc.com/</p>			

講座 N	15日(金) 14:00~17:00	定員	30名
講座名	機器との出会いと活用で広がった日々 ~生活の中でいきづくICT活用~		
講師	圓井 美貴子 さん (保護者：徳島県在住)		
内容&紹介			
<p>重度重複障害のあるお子さんの生き立ちと生活の中でのICTの活用のようす スイッチを使って気づかれたお子さんの変化や可能性の広がり コミュニケーション手段として、また、特殊なネウチを生み出す「ICT活用」を通して、 学校生活、地域生活を有意義に過ごしながら、高校へも行きたいという願いをもたれたこと など、 生活や将来の願いへとつながるICTの活用について語っていただきます。</p>			
備考			
<p>圓井さんのHP 「陽子のお楽しみボックス」 http://www2.netwave.or.jp/~maru/</p>			

平成20年(2008年)6月13日

大阪府支援教育研究会会員 様

大阪府支援教育研究会
会 長 井崎 敏彦

施設見学研修会案内

今年度の大阪府支援教育研究会主催施設見学研修会は、交野松下株式会社のご協力を得て、下記の要領で実施させていただきます。合わせて、同敷地内にある自立センター(訓練施設)、やわらぎ授産所も見学させていただけることになりました。

交野松下株式会社は、障がいのある人の福祉増進を目指し、障がいのある人の自立と社会参加をより確かなものにするために重度障がい者多数雇用事業所として設立されました。今回の施設見学研修会では、障がい者就労の実際を見学させていただいたり、取り組み等の話を聞かせていただくことにより、障がいのある子どもたちへの教育や支援のあり方など、参加者の皆様の実践に役立つヒントが得られるものと思います。

多数の申し込みをお待ちしております。

記

1. 日時 2008年8月22日(金) 13:00 集合～16:30 終了
2. 見学先 交野松下株式会社
大阪府交野市寺4丁目590-1 TEL 072-893-2600
HP : <http://panasonic.co.jp/pavc/kmc/company/>
自立センター 072-893-4523 (入所部)
072-893-1156 (通所部)
やわらぎ授産所 072-892-6671
3. 集合 JR学研都市線(片町線)河内磐船駅前ロータリー 13:00
《駅前で、出欠の確認をします。》
*車不可(駐車場は近くにありません)
(交野松下まで、徒歩18分)
4. 内容 1) 自立センターの見学
2) やわらぎ授産所の見学
3) 交野松下の説明・見学
4) 質疑・応答

5. 定員 40名（大支援研行事部員を含む）
 ※ 大阪府立支援学校及び大阪府下（大阪市を除く）小・中学校の教師のみの参加とします。
 ※ 定員を超えた場合は、主催者で抽選させていただきますが、より多くの学校（支援学校の場合は、学部）から参加していただけますよう、複数名の申し込みのあった学校から、まず、人数を減らさせていただきます。
7. 参加費 無料
8. 申し込み 7月11日(金)締め切り（厳守）
 ※ 下記申し込み先まで、以下の内容を明記の上、MailまたはFaxにてお申し込みください（Faxの場合下記申込書をご活用ください）
 1) 氏名
 2) 所属（支援学校は学部も明記）
 3) 連絡先（MailまたはFax）
 ※ 件名は、必ず、「大支援研施設見学研修会申し込み」をお願いします。
 ※ 参加の可否は、7月18日（金）までに連絡させていただきます。
9. 申し込み先 高石市立高陽小学校 喜多 薫子（行事部書記）
 Mail : shisetsu08@fuyouken.visithp.jp
 Fax : 072-265-1064

-----切り取り線-----

大支援研施設見学研修会申し込み

高石市立高陽小学校 喜多薫子宛（Fax：072-265-1064）

氏名	
所属	学校 学部
連絡先	Fax または Mail

※支援学校は学部も記入して下さい。

平成20年(2008年)6月12日

各 学 校 長 様
支援教育関係者 様

大阪府支援教育研究会
会 長 井 崎 敏 彦

実 技 研 修 会 の ご 案 内

梅雨の候、先生方もご活躍のことと存じます。

5月の総会で府養研は新たに大阪府支援教育研究会と改称いたしました。今まで以上に様々な研究活動・研修の推進につとめるべく取組をすすめてまいります。

さて、例年実施しております「実技研修会…夏の教材製作講習会」を下記のように実施いたします。ふるってご参加ください。

記

- (1) 日 時 平成20年 8月11日(月) 10時～16時
- (2) 場 所 たかつガーデン たかつ(8階)
大阪市天王寺区東高津町7-11 Tel (06)6768-3911
- (3) 講 師 象の会 (内藤 壽・松永 榮一・朝井 翔二 各先生)
- (4) 内 容 10:30～12:00 教材紹介(今までの作品、今回製作のもの)
12:00～13:00 昼食、休憩
13:00～14:20 実技講習前半
A. 数字の歌 B. かなコロリン C. お絵かきヘルパー、声・速さメーター
14:30～16:00 実技講習後半
D. カンタンさかなつり E. 扇なかぶ F. ぱたぱた
各教材の説明は、別紙をご覧ください(別紙上枠内が前半の作品)
前半・後半1つずつ お好きな教材を選んで製作していただきます。
材料等準備の関係がありますので、申し込み用紙に A～Cから1つ、
D～Fから1つを、それぞれお選びになってお申し込みください。

☆「象の会」のホームページ <http://www15.ocn.ne.jp/~zounokai/#pagetop> もご参照下さい。

- (5) 準備物・費用 それぞれの作品ごとに別紙の表をご参照ください。
当日は、作品を入れる袋を各自ご持参ください。

- (6) 申し込み方法 下記用紙にご記入の上、**FAX**でお申し込みください。
各教材ごとに **定員30名**、先着順受付とさせていただきます。
もし、お申し込みのご希望に添えない場合のみ、ご連絡いたしますので、
申し込み用紙に、ご連絡先をご記入ください。

(7) 申し込み締め切り 平成20年 7月18日(金)

(8) 申し込み及び問い合わせ先 大阪府支援教育研究会 書記(研修部担当) 佐藤正幸
摂津市立第四中学校 TEL 06-6349-6181

FAX 06-6349-6184

.....キ.....リ.....ト.....リ.....セ.....ン.....

申 込 用 紙 ()月()日	
送 信 先	摂 津 市 立 第 四 中 学 校 佐 藤 正 幸 宛
申 込 者	()様
学 校 名	() (市・町・村) () 学 校
FAX 番号	()-()-()
希望作品 番号と 費用を ご記入 ください。	前半 第1希望 () 費用()円 第2希望 () 費用()円 後半 第1希望 () 費用()円 第2希望 () 費用()円

もし、ご連絡必要な場合には、上記FAX番号に連絡させていただきますが、他の方法をご希望される場合、下にご記入ください。

連絡先 (学校・自宅・携帯)

TEL番号 ()-()-()
またはメルアド ()

※ 申込を受付したことをお知らせするご案内は致しませんので、この用紙をご持参の上、当日会場へお越しくください。

A 数字の歌

数字に親しんでもらうために、引き出すと数字が楽しい絵に変身するオリジナル絵本を作ります。1～10までの数字がどれも楽しい絵に変わります。

<用意するもの>

材料費 1,000円
カッターナイフ、はさみ、30cm定規、ホッチキス
セロテープ(10mm幅)、赤・黒の油性ペン(マジック)



B かなコロリン

上から絵を入れると…なんと、下から「あ」の文字となって出てきます。もちろん「あ」を入れれば、アイスの絵が出てきます。身近なものとかかな文字が結びつきやすくなりますね。ひらがなを入れて、カタカナにもできます。



<用意するもの>

材料費 1,500円
はさみ、30センチ定規、両面テープ(10mm幅)カッター

C 声・速さメーターNEW

話すときに、周りに関係なく大声だったり、早口だったりして、伝わりにくい子どものために、適切な大きさ、速さを視覚的に支援するメーターです。

この製作は短時間でできますので、右のお絵かきヘルパーと同時に製作します。

<用意するもの>

材料費 300円
30cm定規、はさみ、カッター、千枚通し



C お絵かきヘルパーNEW

ポスカや油性ペンなどを持つのが苦手な子どもも、このヘルパーを使えば、子どもの手の動きを描画として残すことが可能になるお役立ちツールです。

この製作は短時間でできますので、左の声・速さメーターと同時に製作します。

<用意するもの>

材料費 1,500円
道具は要りません。



D カンタンさかなつり NEW

魚釣りゲームは、糸の先に針金やマグネットをつけたものが多く、子どもによってはなかなか難しいものでした。これは折れ曲がる軟らかい棒で叩けば釣れる、全く新しい魚釣り。

発展させて、昆虫採集、サファリなども楽しめるようにしました。

<用意するもの>

材料費 1,500円
はさみ、30cm定規



E 扇なかぶ

ご存知大きなカブの話が、大きな扇子になりました。扇子を広げると、おじいさんが…、おばあさんが…、話の進行に伴って、扇子が広がり、登場人物がふえていきます。たたえば小さくしまえる大きなカブです。

<用意するもの>

材料費 1,000円
はさみ、30cm定規、両面テープ(10mm幅)



F ぱたぱた

お話を進め、最後になるとぱたぱたと変シーン!! いもほり、大きなかぶなど新作のお話も用意しました。

<用意するもの>

材料費 800円、他に差し換えのお話のカラーコピー1部当たり400円、セロテープ、はさみ、カッターナイフ、透明両面テープ10mm幅、普通の紙製の両面テープでなく、「透明」と書かれたものを用意してください。

新作 大きなカブの話もあります。



大阪府支援教育研究会

実技研修会

夏の教材製作講習会

製作教材一覧

特別支援教育セミナーin 関西2008

平成19年度から、特別支援教育が本格的に動き出しました。心身症を伴った不登校や発達障がい等の子どもたち、また、病気と付き合いながら通常の学級で学ぶ子どもたちも含め、一人ひとりのニーズに応じた取り組みが進みつつあります。

本セミナーでは、特別支援教育を進めるために、医療の専門家を招き、心の支援という病気で療養している子どもたちの教育の基本と応用を学ぶ講義に加えて、特別な配慮を必要とする子どもたちへの支援のあり方やこれからの特別支援教育についての公開講義も開講いたします。子どもたちが病気と付き合いながら、地域で安心して楽しい学校生活や日常生活を送れることを願って、このセミナーを開催しています。

特別支援教育に関わる教師や医療・福祉の関係の方々及び保護者のご参加を心よりお待ちしております。

主催	病弱教育セミナーin「関西」運営委員会
後援予定	大阪府教育委員会 大阪市教育委員会 堺市教育委員会
参加対象者	特別支援教育に関わる教師、養護教諭や医療・福祉の関係者・保護者 特別支援教育に関心のある方
定員	50名（先着順）
日程	平成20年8月4日（月）9：30 開講式 10：00 開講～18：30 5日（火）9：00～15：50 閉講式 16：00 終了
会場	道頓堀ホテル（大阪府中央区道頓堀2-3-25）TEL 06-6213-9040
内容	裏面参照
参加費	2日間 一般 12000円 学生 8000円（宿泊は含みません） 1日目（8/4）のみ参加 10000円、2日目（8/5）のみ参加 5000円 *道頓堀ホテル宿泊料は、セミナー参加者については1泊朝食付き7000円の特別割引料金です。 *2日間5講義のうち、講義Ⅰと講義Ⅴは公開講義です。セミナー受講生以外に公開講義のみの参加も受け付けます。（先着100名） 参加費は1講義につき 2000円（学生 1000円）

お申し込み・問い合わせ先

病弱教育セミナーin「関西」運営委員会事務局
〒583-0872 大阪府羽曳野市はびきの3-7-1
大阪府立羽曳野支援学校内（担当 教頭 西上 優子）
TEL 072-958-5000 FAX 072-958-7890
Eメール：nishigami@habikino-y.osaka-c.ed.jp

講師紹介・内容

講義Ⅰ（公開講義）

郭 麗月氏（桃山学院大学社会学部社会福祉学科教授）

「発達障がいの特徴を持つ子どもたちは他の多くの子どもたちと物事を捉える経路や感性が異なっているため、学校生活の中でしばしば困難に直面します。周囲が理解し対応することで、彼らはずいぶんストレスを軽くし、学校を楽しく安全な場所として過ごすことができます。この日々の積み重ねが思春期以降に顕在化することが多い二次障がいを防ぐこととなります。」

講義Ⅱ

横田 雅史氏（愛知みずほ大学教授）

「病弱教育担当者は、担当者である前に教師であり、その前に人の子（親）であり、人間であります。子どもの病気の種類は500種類を越え、それぞれの病気の配慮事項を調べながら、時には教科、学年にとらわれない展開が必要です。これまでの経験を踏まえ、もう一度取り組んでみたい現場は院内学級であるという思いからその魅力を講じたい。」

講義Ⅲ

馬戸史子氏（大阪大学医学部附属病院チャイルド・ライフ・スペシャリスト）

「チャイルド・ライフ・スペシャリストは、子ども・家族が主役のケアを目指す小児医療の現場で、医師、看護師、院内学級教師、心理士等、他の専門職スタッフと連携しながら協働しています。子ども一人ひとりの“こころ”と“いのち”を大切に守り、癒し、育むチーム医療の中での、CLSの役割と取り組みについてご紹介します。」

講義Ⅳ

橋本 亮太氏(大阪大学大学院医学系研究科精神科医師)

「学齢期には、学齢期に特徴的な精神障害と、大人と同時に起こる精神障害があります。また、学齢期には、心理社会的な精神障害が起こります。このことから精神発達の段階に応じて、精神障害の症状が影響を受けたり、また治療・療育などの支援方法の工夫が必要となります。本講義では、学齢期の子どもにおける正常な精神発達と学齢期に特徴的な精神障害等の頻度、原因、症状、治療そして対応方法などについて概説します。」

講義Ⅴ(公開講座)

荒木田 美香子氏(国際医療福祉大学小田原保健医療学部教授)

「頭の中で子どもの障がいや困難さを理解していても具体的なものではありません。体験することにより子どもの障がいを理解し、援助する方法を環境の改善を含めた広い立場から考えることが必要です。また、子どもに努力することの価値、意味を教えるとともに、ソーシャルスキルを教える Why Try プログラム(アメリカで開発)を紹介したい。」

シンポジウム

○ 永井利三郎氏[コーディネーター](病弱教育セミナーin「関西」運営委員会会長)

「慢性疾患の子どもは、学校生活をどのように支えていくかは、このセミナーの原点です。しかしその課題は時代背景や医療内容の変化とともに変遷してきており、現時点の課題を捕らえ直したいと考え、シンポジウムを企画いたしました。今回はその病弱教育の原点に立ちもどり、議論を深めたいと考えております。医療の専門分野のエキスパートに、医療の現場から見て、どのような課題があるのかを概説していただくことをお願いしました。また保護者の立場から、教育の立場から、教育システムの変化の中で、現状と課題をお願いしたいと考えております。ぜひ多くの先生方にシンポジウムにご参加いただければと思います。」

○ 齊藤 利雄氏(国立病院機構刀根山病院神経内科医師)

「非侵襲的人工呼吸法の導入により、それまで 20 歳まで生きられないといわれてきた Duchenne 型筋ジストロフィーの寿命は現在平均 30 歳になろうとしています。医療的ケアを受けながらの学校生活をどのように支えていくか、医療機関、学校・教育委員会・福祉関連機関などの連携が求められます。」

○ 小垣 滋豊氏(大阪大学医学系研究科小児科学医師)

「外科的・内科的治療の進歩により、個々の問題をかかえながらも多くの心臓病の子どもたちが学校生活を送るようになってきました。よりよい集団生活を送れるようにするには、何を知り、どのように対処すればよいのでしょうか、疾患の理解・子どもの理解・生活管理指導表の理解・対応のポイントなどを通じて連携の重要性を考えます。」

○ 稲田 浩氏(大阪市立大学大学院発達小児医学医師)

「小児肥満は肝機能障害、高脂血症、2 型糖尿病などの合併症の原因となり、将来の動脈硬化性疾患のリスクを高める。その治療と予防には薬物療法意外に、日々の食事、生活のコントロールが重要である。一般教育、学校保健における健康教育と肥満小児に対する指導のあり方について考えてみたいと思います。」

○ 田口 信助氏(全国心臓病の子どもを守る会大阪支部事務局長)

「病気の子どもたちは、そのほとんどが地域の学校で学んでいます。病弱教育を行っている特別支援学校や院内学級も病気の子どもにとっては大切な学びの場なのですが、もっと多くの子どもたちが多くの時間をすごしている地域の学校…。この学びの場での病弱教育の現状は？ 地域の学校でも病弱教育の光が子どもたちに届くように…。」

○ 辻野 愛氏(大阪府泉南郡熊取町立北小学校養護教諭)

「学校には、発達障がいや病気を持っている子どもをはじめ、様々な課題をかかえた子どもたちがいます。彼らが、楽しく有意義に学校生活を過ごすためには、校内での共通理解と学校、医療機関、保護者との連携が不可欠です。今回は、心疾患を持つ児童との関わりを通して、以上のことをお伝えします。」

特別支援教育セミナーin 関西2008カリキュラム

平成20年8月4日(月)～5日(火)

日	開始時間	カリキュラム
第1日 4日 (月)	9:00 9:30 10:00～12:00 12:00～13:00 13:00～14:30 14:40～18:30 19:00～20:00	受け付け 開講式 講義Ⅰ(公開講義) (9:30 から公開講義受け付け) 「発達障がいのある子どもへの対応～思春期の子どもを考える～」 講師 郭 麗月 氏(桃山学院大学社会学部社会福祉学科教授) 昼食・休憩 講義Ⅱ「これだけは知っておきたい病弱教育の基礎」 講師 横田 雅史 氏(愛知みずほ大学教授) シンポジウム 「病気をもつ子どもの元気を育む～地域で安全で楽しい学校生活や日常生活ができるために～」 (コーディネーター) 永井 利三郎 氏 (病弱教育セミナーin「関西」運営委員会会長) ①神経筋疾患(筋ジストロフィーなど)の場合 齊藤 利雄 氏(国立病院機構刀根山病院神経内科医師) ②心臓病の場合 小垣 滋豊 氏(大阪大学医学系研究科小児科学医師) ③肥満(2型糖尿病を含む)の場合 稲田 浩 氏(大阪市立大学大学院発達小児医学医師) ④保護者の立場から 田口 信助 氏(全国心臓病の子どもを守る会大阪支部事務局長) ⑤養護教諭の立場から 辻野 愛 氏(大阪府泉南郡熊取町立北小学校養護教諭) 夕食
第2日 5日 (火)	9:00～9:40 9:50～11:50 11:50～12:50 13:00～15:00 15:10～15:50	講義Ⅲ「病気の子どもに寄り添って」 講師 馬戸 史子 氏(大阪大学医学部附属病院チャイルド・ライフ・スペシャリスト) 講義Ⅳ「学齢期の子ども『精神障害』への支援」 講師 橋本 亮太 氏(大阪大学大学院医学系研究科精神科医師) 昼食・休憩 講義Ⅴ(公開講義) (12:30 から公開講義受け付け) 「これからの特別支援教育～子どもの心への新しいアプローチ法～」 講師 荒木田 美香子 氏 (国際医療福祉大学小田原保健医療学部教授) 閉講式 会長挨拶・修了証授与(2日間(全講義)出席者) 解散

問い合わせ先：病弱教育セミナーin「関西」運営委員会事務局

大阪府立羽曳野支援学校内(担当 教頭 西上 優子)

TEL 072-958-5000 FAX 072-958-7890

病弱教育セミナーin「関西」運営委員会事務局宛

申 込 書

フリガナ 氏名		男・女	所 属	
連絡先住所				自宅・勤務先
連絡先TEL		FAX		
1 特別支援教育セミナー(2日間)の受講を(希望する・希望しない)一般・学生				
2 1日目(8/4)のみの受講を(希望する・希望しない)(一般・学生 10,000円)				
3 2日目(8/5)のみの受講を(希望する・希望しない)(一般・学生 5,000円)				
①道頓堀ホテルでの宿泊	前泊	希望する・希望しない	当日	希望する・希望しない
②食事申し込み(昼食1500円・夕食2000円)				
4日	昼食	要・不要	夕食	要・不要
5日	昼食	要・不要		
4 公開講義(講義Ⅰ)のみの受講を(希望する・希望しない)一般・学生				
5 公開講義(講義Ⅴ)のみの受講を(希望する・希望しない)一般・学生				
【質問事項】(個人情報に配慮の上、ご記入ください。)				
講義Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・シンポジウム(いずれかにか○印)				

* ご記入いただいた質問事項は、予め講師に連絡し、当日のシンポジウム・講義の内容にいかしたいと思っています。

* 申し込み受け付け後、事務局より受講料の振り込み等の案内を送ります。
申込書に記載された個人情報は、セミナー関係の連絡以外には使用しません。

- お願い
- 1 氏名・連絡先は、楷書で詳しくご記入ください。
 - 2 事務局からの連絡送付の関係上、FAX番号は必ずご記入ください。
 - 3 申し込み後参加できなくなった場合、受講料は返金できませんので、どなたかにお譲りください。

全国統一テーマ

一人ひとりの発達をともに歩もう

主催：特定非営利活動法人 日本ムーブメント教育・療法協会
 関東支部・愛媛支部・北海道支部・大阪支部・信越支部

共催：国際ムーブメント教育・療法学術研究センター
 横浜市心身障害児者を守る会連盟

【本部事務局】

特定非営利活動法人 日本ムーブメント教育・療法協会
 〒144-0056 東京都大田区西六郷4-20-6 TEL. 03-3738-1094 FAX. 3738-1172

:: セミナーへのおさそい

ムーブメント教育・療法は、横浜国立大学教授の小林芳文博士が1977年に日本へ紹介されてから31年が経過しました。ムーブメント法は、一人ひとりの自主性を大切に、人間性尊重を基本理念としており、『みんなの健康と幸福の達成』をめざしています。

今年も5会場で実践講座を開催いたします。

この機会に、ぜひ人の和のすばらしさを実感されますようおすすめいたします。

:: 講師紹介

- 小林 芳文 横浜国立大学教育人間科学部教授・JAMET 会長
 高城義太郎 鎌倉女子大学常務理事・学長特任補佐・特任教授・日本児童学会会長
 仁志田博司 東京女子医科大学名誉教授・前 JAMET 会長
 増田まゆみ 目白大学人間社会学部教授・JAMET 理事・専門指導員
 佐藤 満雄 北翔大学教授
 飯村 敦子 鎌倉女子大学児童学部教授・JAMET 理事・専門指導員
 新井 良保 鎌倉女子大学児童学部教授・JAMET 専門指導員
 當島 茂登 鎌倉女子大学児童学部教授・JAMET 理事・専門指導員
 小林 保子 東京福祉大学短期大学部教授・JAMET 専門指導員
 大橋さつき 和光大学現代人間学部准教授・JAMET 専門指導員
 並木 淑乃 鎌倉市立腰越小学校教諭・JAMET 専門指導員
 森 正人 北海道北広島市立大曲東小学校教諭・JAMET 上級指導者
 吉田久美子 清水台保育園主任保育士・JAMET 専門指導員
 大和 洋子 杉の木台保育園主任保育士・JAMET 専門指導員
 岡部 周子 茨城県立あすなろの郷生活支援センター専門員・JAMET 上級指導者
 上原 淑枝 川崎市立百合丘小学校教諭・JAMET 上級指導者
 石田 修一 NHO まつもと医療センター中信松本病院小児科医師
 中村千勢子 NHO まつもと医療センター中信松本病院副看護師長・JAMET 中級指導者
 金川 朋子 大阪教育大学附属特別支援学校教諭・JAMET 上級指導者
 片山江美子 たけのこの家主任保育士・JAMET 上級指導者
 栃木千鶴美 玉ノ江保育園主任保育士・JAMET 上級指導者
 川端 智美 介護福祉施設「アイリス」指導員・JAMET 中級指導者
 安藤 正紀 神奈川県海老名市立中新田小学校教頭・JAMET 専門指導員
 竹内 麗子 清水台保育園園長・JAMET 理事・専門指導員
 古瀬 英之 長野県松本看護学校自立活動専任教員
 川久保その子 NHO まつもと医療センター中信松本病院看護師・JAMET 中級指導者
 鎌倉 律子 NHO まつもと医療センター中信松本病院保育士・JAMET 中級指導者
 柳澤美恵子 NHO 神奈川病院主任保育士・JAMET 専門指導員

:: 募集要項

愛媛大会 7月26日(土)・27日(日) 定員：150名

会場：愛媛県身体障害者福祉センター 大会議室
 愛媛県松山市道後町2-12-11

申込先：〒791-1112 愛媛県松山市南高井町838 川本方 JAMET愛媛支部
 TEL・FAX 089-990-4081

北海道大会 8月2日(土)・3日(日) 定員：150名

会場：北翔大学北方園スポーツセンター 6階会議室
 北海道江別市文京台23番地

申込先：〒006-0805 北海道札幌市手稲区新発寒五条3-6-14
 TEL・FAX 011-695-0648

関東大会 8月9日(土)・10日(日) 定員：200名

会場：横浜ラポール ラポールシアター
 神奈川県横浜市港北区鳥山町1752

申込先：〒144-0056 東京都大田区西六郷4-20-6
 行道福祉会内 JAMET本部事務局
 TEL 03-3738-1094 FAX 03-3738-1172

大阪大会 8月16日(土)・17日(日) 定員：200名

会場：大阪国際会議場 1003会議室 大阪市北区中之島5-3-51

申込先：大阪府大阪狭山市大野台1-30-1 JAMET大阪支部事務局 高井照隆
 TEL 090-9995-5223 FAX 072-367-0713

信越大会 8月23日(土)・24日(日) 定員：150名

会場：松本市Mウイング 大ホール 長野県松本市中央1-19-21

申込先：〒399-0021 長野県松本市寿豊丘811 NHO まつもと医療センター
 中信松本病院 療育指導科療育指導室 JAMET信越支部事務局
 TEL・FAX 0263-57-2096

:: 受講料 会員：9,000円 一般：10,000円 学生：7,000円

:: 申込方法

- 受講ご希望の方は、同封の「申込書」に必要事項をご記入いただき、各大会の事務局宛にFAXまたは現金書留でお申し込みください。
- 折り返し受講票、会場案内、お知らせ、郵便振替用紙等をお送りいたします。
- 当協会主催の夏期セミナーは、『認定指導者養成制度』と連動しております。詳しくは、各セミナー会場にてご説明いたします。

子どもの発達を見つめ支援につなげるムーブメント教育・療法実践講座

愛媛大会 7月26日(土)・27日(日)

7月26日(土) 9:30(受付)～16:30

10:00	〈実技〉	ムーブメントによる子どもたちの発達支援 ～動きづくりから喜びへ～	JAMET 愛媛支部スタッフ
11:00	〈解説〉	ムーブメント活動のポイント ～ムーブメント教育はなぜ必要か～	小林 芳文
12:00	〈サマープレゼント〉 〈昼食〉 〈理論〉	親子ムーブメント	小林 芳文
13:00	〈理論と実技①〉	フロスティグのムーブメント教育・療法 ～そのポイントと実践をつなぐ～	小林 芳文
14:00	〈理論と実技②〉	ムーブメント教育・療法による発達障害児の支援 ～MEPA-Rの活用	飯村 敦子
15:20	〈理論と実技③〉	重度重複障害児(者)のためのムーブメント療法 ～揺れ道具の活用とその効果～	地元指導者と小林芳文

7月27日(日) 9:00(受付)～16:10

9:40	〈実践報告と実技①〉	徳島支部での実践	JAMET 徳島支部スタッフ
10:40	〈理論と実技③〉	LD・ADHD・自閉症児を支援するムーブメント教育 ～MEPA-R活用の際～	小林 芳文
11:50	〈昼食〉		
13:00	〈実践報告と実技②〉	愛媛支部での実践	JAMET 愛媛支部スタッフ
13:40	〈実践報告と実技③〉	重度重複障害児(者)のためのムーブメント療法 ～愛媛病院での取り組み～ 独立病院機構愛媛病院療育指導室スタッフ	
14:20	〈実践報告と実技④〉	特別支援学級と通常学級との合同ムーブメント授業の実践 ～共に生きる心を育むために～	並木 淑乃
14:30	〈フィナーレ〉	音楽ムーブメント in 松山 ～受講者の皆様とご一緒に～	飯村 敦子
15:30	〈終了・解散〉		

子どもたちの発達に寄り添い支援するムーブメント教育・療法実践徹底講座

北海道大会 8月2日(土)・3日(日)

8月2日(土) 9:30(受付)～16:10

10:00	〈公開実践〉	動きをとおして子どもたちに喜びを ～ムーブメント遊び集団虹の子の子どもたちと共に～	ムーブメント遊び集団「虹の子」スタッフ
11:15	〈解説〉	ムーブメント活動のポイント ～ムーブメント教育はなぜ必要か～	小林 芳文
11:45	〈サマープレゼント〉 〈オリエンテーション〉	親子ムーブメント	小林 芳文
12:00	〈昼食〉 〈理論〉		
13:00	〈理論と実技〉	フロスティグのムーブメント教育・療法 ～そのポイントと実践をつなぐ～	小林 芳文
14:00	〈理論と実技①〉	ムーブメント教育・療法のアセスメント ～MEPA-R活用の際～	飯村 敦子
15:00	〈ワークショップ①〉	発達支援に活かすムーブメント教育 ～ユラコ・トランポリンなど揺れ道具の使い方～	小林 芳文

8月3日(日) 8:50(受付)～16:00

9:00	〈理論〉	ムーブメント教育とICF-CY ～自閉症との関連を中心として～	佐藤 満雄
10:00	〈ワークショップ②〉	発達支援に活かすムーブメント教育 ～ロープ・プレイバンド・フープなど操作性道具の使い方～	森 正人
11:00	〈実践報告と実技〉	小学校での交流教育に活かすムーブメント教育	並木 淑乃
11:15	〈昼食〉		
12:00	〈ワークショップ③〉	発達支援に活かすムーブメント教育 ～風船・スカーフ・パラシュートなどファンタジー道具の使い方～	小林 芳文
13:00	〈実技〉	保育・教育に活かす音楽ムーブメント ～受講者の皆様とご一緒に～	飯村 敦子
14:00	〈質疑応答・フィナーレ〉		
14:15	〈終了・解散〉		

子どもたちの発達に寄り添い支援するムーブメント教育・療法実践徹底講座

関東大会 8月9日(土)・10日(日)

8月9日(土) 9:30(受付)～16:45

10:00	〈実技〉	動きをとおして子どもたちに喜びを ～守る会連盟の子どもたちと共に～	JAMETムーブメント教室スタッフ
11:30	〈解説〉	ムーブメント活動のポイント ～ムーブメント教育はなぜ必要か～	小林 芳文
12:00	〈昼食〉 〈理論〉		
13:00	〈実践報告〉	改定幼稚園教育要領・保育所保育指針とムーブメント教育・療法 ～そのポイントと実践をつなぐ～	増田まゆみ
14:00	〈特別講演〉	ムーブメント教育・療法のアセスメント ①幼児教育・保育に活かすムーブメント教育の実践 ②発達支援に活かすムーブメント教育の実践 児童学の立場からムーブメント教育・療法に期待する	吉田久美子 大和 洋子 高城義太郎

8月10日(日) 9:15(受付)～16:20

9:30	〈理論と実際〉	ムーブメント教育・療法のアセスメント法 ～MEPA-R活用の際～	小林 保子
10:30	〈未来へ向かって〉	子どもたちと歩んできたムーブメント教育・療法 ～谷口智哉君・関野賢志君・大崎友未佳さん・渡辺麻衣子さんと小林先生～	小林 芳文
11:45	〈ホットタイム〉 〈昼食〉		
12:00	〈グループワーク〉	ムーブメント教育・療法の道具・音楽の活用	岡部 周子 上原 淑枝
13:50	〈サマープレゼント〉	お子さんとのフリームーブメント	
14:05	〈理論と実践報告〉	重症心身障害児(者)とムーブメント療法 ①医師の立場から ②看護する立場から 特別支援教育に活かすダンスムーブメント	石田 修一 中村千勢子 大橋さつき
15:30	〈実技〉		
16:15	〈終了・解散〉		

一人ひとりの発達と健康を支えるムーブメント教育・療法実践講座

大阪大会 8月16日(土)・17日(日)

8月16日(土) 12:30(受付)～16:30

13:00	〈実技・実践報告〉	特別支援学校での実践	金川 朋子
14:00	〈解説〉	実技指導のポイント ～ムーブメント教育はなぜ必要か～	小林 芳文
14:20	〈理論〉	フロスティグのムーブメント教育・療法 ～そのポイントと実践をつなぐ～	小林 芳文
15:20	〈理論と実技〉	特別支援教育に活かす音楽ムーブメント ～知覚・精神運動に結びつけて～	飯村 敦子

8月17日(日) 9:15(受付)～16:40

9:30	〈理論と実際〉	教科学習(国語・算数)に活かすムーブメント教育 ～特別支援学級での展開～	當島 茂登
10:30	〈実践報告と実技〉	①重度重複障害児の療育支援の実践 ②発達障害児を支える環境づくりの実践	片山江美子 栃木千鶴美
10:50	〈昼食〉		
12:00	〈実践報告と実技〉	③地域支援におけるシルバームーブメントの実践 金川 朋子、川端 智美 大阪ムーブメント教育研究会スタッフ	
13:00	〈解説〉	実技指導のポイント ～これからのムーブメント教育・療法(楽しい介護福祉に向けて)～	小林 芳文
14:10	〈ホットタイム(質疑応答)〉		
14:40	〈実技〉	小学校体育に活かすムーブメント教育 ～工夫した動きづくり(受講者の皆さんとともに)～	安藤 正紀
15:05	〈閉会セレモニー〉		

重症児(者)療法での10周年記念実践講座

信越大会 8月23日(土)・24日(日)

8月23日(土) 12:00(受付)～17:30

12:00	〈受付〉	♪ nozomi gazing quartet ♪による生演奏	松本会場事務局
12:30	〈実技〉	まつもと医療センター-中信松本病院での実践	中信松本病院療育指導室
13:00	〈オリエンテーション〉 〈理論〉	フロスティグのムーブメント教育・療法 ～そのポイントと実践をつなぐ～	小林 芳文
14:15	〈事例報告〉	ムーブメントで育った重度重複障害ゆきちゃんの28年の歩み	竹内 麗子
15:15	〈理論と実技〉	ムーブメント教育・療法の理論と展開 ～動きと音楽の効果的な使い方～	飯村 敦子
16:05	〈質疑応答〉		

8月24日(日) 9:00(受付)～16:10

9:10	〈実践報告〉	①特別支援学校からの実践 ②地域・在宅支援からの実践 I 通園者のムーブメント II シニアムーブメント ③重症児(者)病棟での実践 ④医療・看護からの実践	長野県松本養護学校 川久保その子 鎌倉 律子 柳澤美恵子 中村千勢子
10:50	〈昼食・休憩〉		
11:00	〈講演〉	各会場にて分科会 分科会報告 重症児医療を支援する	仁志田博司
13:00	〈実技〉	ムーブメント道具の効果的な活用法 ～利用者・受講者の皆様とご一緒に～	小林 芳文
14:20	〈質疑応答〉 フィナーレ		
15:50	〈終了・解散〉	～松本ほんぼん～	

(注1) 各会場の講師、内容等はやむを得ない事情により変更になる場合があります。

あらかじめご承知おきくださいますようお願いいたします。

(注2) 受講のお申し込みは、事務処理の正確さ迅速さのためにも、各会場の担当支部をご確認のうえ、FAX又は現金書留でお送りください。

2008年度認定中級指導者養成講座の予告

主催 特定非営利活動法人 日本ムーブメント教育・療法協会

期日 2008年11月29日(土)・30日(日)

会場 関西ペイント株式会社東京事業所(予定)

東京都大田区南六郷3-12-1

受講資格 2007年度までに認定初級指導者資格を登録されている方、又は、認定中級指導者以上を登録されている方

受講定員 80名

受講料 会員9,000円/学生7,000円

※会員の方には、改めて詳細をご案内いたします。

申込・お問い合わせ先

特定非営利活動法人 日本ムーブメント教育・療法協会

〒144-0056 東京都大田区西六郷4-20-6

TEL. 03-3738-1094 FAX. 03-3738-1172

会場・内容等の詳細については、会員の方には改めてご案内いたします。

〈一人ひとりの発達をともに歩もう〉

2008年度 ムーブメント教育・療法セミナー申込書

2008年 月 日

希望会場	愛媛 北海道 関東 大阪 信越 (ご希望の会場を○でお囲みください。)	受付番号 (事務局用)	
ふりがな			女 男
氏名			
自宅住所	〒□□□□□□□□		
	TEL ()	FAX ()	
当協会主催の講座受講経験	有 無	認定・会員登録	有 無 金額 円
勤務先名			職 種 勤務年数 年
勤務先所在地	〒□□□□□□□□		
	TEL ()	FAX ()	

◎当協会では、『個人情報の保護に関する法律』及び関連法令等を遵守し、この申込書の記載内容は受講関係事務処理のためにのみ使用させていただきます。(特定非営利活動法人日本ムーブメント教育・療法協会)

【受講をご希望の方は、担当事務局をご確認のうえ、FAX又は現金書留でお申し込みください。】

■愛媛大会 7月26日(土)・27日(日) 定員:150名
会 場:愛媛県身体障害者福祉センター 大会議室
愛媛県松山市道後町2-12-11
申込先:〒791-1112 愛媛県松山市南高井町838
川本方 JAMET愛媛支部
TEL・FAX. 089-990-4081

■大阪大会 8月16日(土)・17日(日) 定員:200名
会 場:大阪国際会議場 1003会議室
大阪市北区中之島5-3-51
申込先:〒589-0023 大阪府大阪狭山市大野台1-30-1
JAMET大阪支部事務局 高井照隆
TEL 090-9995-5223 FAX 072-367-0713

■北海道大会 8月2日(土)・3日(日) 定員:150名
会 場:北翔大学北方圏スポーツセンター 6階会議室
北海道江別市文京台23番地
申込先:〒006-0805 北海道札幌市手稲区新発寒五条3-6-14
JAMET北海道支部 森 正人
TEL・FAX. 011-695-0648

■信越大会 8月23日(土)・24日(日) 定員:150名
会 場:松本市Mウイング 大ホール
長野県松本市中央1-19-21
申込先:〒399-0021 長野県松本市寿豊丘811
NHOまつもと医療センター中松本病院
療育指導科療育指導室 JAMET信越支部事務局
TEL・FAX 0263-57-2096

■関東大会 8月9日(土)・10日(日) 定員:200名
会 場:横浜ラポール ラポールシアター
神奈川県横浜市港北区鳥山町1752
申込先:〒144-0056 東京都大田区西六郷4-20-6
行道福祉会内 JAMET本部事務局
TEL. 03-3738-1094 FAX. 03-3738-1172

☆お申し込みをいただきましたら、担当支部より受講票、会場略図、郵便振替用紙等をお送りいたします。